

# ボーリング柱状図

調査名 一般県道乙瀬小方線 新町陸橋耐震補強工事に伴う支障物件移設設計業務委託

ボーリングNo	B	R	G	0	0	2				
---------	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No. P4		調査位置	広島県大竹市御園一丁目			北緯	34° 14' 12.2"			
発注機関	広島県西部建設事務所廿日支所			調査期間	平成 29年 8月 8日 ~ 29年 8月 9日		東経	132° 13' 5.8"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	GI=	角	180°	方	北	地盤勾配	使用機種	試験機	東邦製 D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	5.25m	度	上	270°	0°	鉛直	エンジン	ヤンマー NFD12	ポンプ	東邦製 BG-3型	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 ( )	掘進月日	
											深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値						
1					礫混じり砂	淡茶灰	緩い		マサ土由来の盛土で砂~細礫を主体とする。乾燥した状態にある。GI=1.0m付近にコンクリート片混入する。	8/8	1.15	2	3	2	7/30					
2	2.10	2.70	2.70		礫混じり砂	暗灰	非常に緩い		現場透水試験・注水法実施時GI=1.8mより水位上昇しない。	8/8	1.45	1	2	2	5/30					
3					礫混じり砂				砂~細礫を主体とする。所々にφ20~30mm程度の巨礫が点在する。	8/8	2.45	1	1	1	1/30					
4									色調変化深度と初期地下水位確認深度はほぼ一致する。	8/8	3.15	1	1	1	1/35					
5	-0.43	2.53	5.23						※GI=5.25mの標準貫入試験でコンクリートに達し掘り止めとする。	8/8	3.45	1	1	1	1/35					
6										8/8	4.15	1	1	1	1/10					
7										8/8	4.50	1	1	1	1/10					
8										8/8	5.15	1	1	1	1/10					
9										8/8	5.25	1	1	1	1/10					